

2019年7月9日

伊藤ハム米久ホールディングス、キューピー 鉄道共同輸送に関するお知らせ

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社（代表取締役社長：宮下 功）と、キューピー株式会社（代表取締役社長執行役員：長南 収）は、2018年12月より鉄道用冷凍コンテナを共同で活用しています。

このたびキューピーが、その共同活用を含めた3つの取り組みについて総合的に評価を受け、7月5日に開催された製・配・販連携協議会総会／フォーラムにおいて「サプライチェーン イノベーション大賞 2019※1」の「大賞」を受賞されました。

キューピー 「サプライチェーン イノベーション大賞」 受賞取り組み内容※2

- ①異業種3社による共同幹線輸送
- ②伊藤ハム米久ホールディングスとの鉄道コンテナの共同活用
- ③繁忙期（夏期・年末年始）における翌々日配送の実施

弊社は昨今のトラックドライバー不足や拘束時間問題への対策として、グループ全体でモーダルシフト※3を検討しており、その第一弾として2018年12月よりキューピーの帰り便を活用したモーダルシフトを開始しています。キューピーの関東から九州への鉄道輸送便の帰り便を活用させていただき、共同輸送として、低温度帯で伊藤ハムウエスト九州工場が製造した商品の輸送に取り組んでいます。

この取り組みにより、1回あたりのトラック輸送距離が94.7%削減、CO₂排出量が91%削減されました。

また、今後は鉄道を利用した常温物流や冷凍コンテナでのラウンド輸送、チルド温度帯にも挑戦していく予定です。

※1:「サプライチェーンイノベーション大賞」は、国内におけるサプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下、優れた取り組みを行い、業界を牽引した事業者に対して、その功績を表彰するものです。

※2: 取り組み内容の詳細は、キューピーホームページをご覧ください

(<https://www.kewpie.com/newsrelease/2019/1379/index.html>)

※3: モーダルシフトとは、トラックなどの自動車で行われている貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換することをいいます。

本リリースに関するお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

総務部広報室 篠原、眞島

Tel:03-5723-6889 Fax:03-5723-2112